

授業科目 産業看護

【担当教員名】 西脇 友子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
 職場において労働者の安全と健康を脅かす基本的な危険有害要因や健康障害への理解、これらの管理手法や評価手法について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 産業看護活動の目的がわかる。
2. 働く人々の安全と健康を守るための制度やシステムがわかる。
3. 働く人々の労働環境と健康課題を知る。
4. 産業看護職の役割と看護の方法を説明する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	産業看護の定義と歴史的背景、産業看護活動の現状と動向	1	講義
2	産業保健の根拠となる労働関係法規と労働衛生の基礎知識	2	講義
3	働く人々の健康状態や職場環境に関連した健康課題 (勤労世帯の家族特徴を加味して健康課題を探索する)	3	講義
4	産業看護活動の役割と業務の実際 1	4	講義・演習
5	産業看護活動の役割と業務の実際 2	4	講義・演習
6	産業看護活動の役割と業務の実際 3	4	講義・演習
7	産業看護活動の役割と業務の実際 4	4	講義・演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	公衆衛生看護学大系 第6巻	産業保健指導論	河野啓子	日本看護協会出版会 最新版 3,360円
参考書	適宜紹介			
その他の資料				

【評価方法】 レポート、試験(90%) 授業の参加状況(10%)	【履修上の留意点】 経済動向、雇用動向、産業構造、過労死、中高年の自殺など新聞や時事報道などに注意を払い、産業看護と結びつけて考えることができるようにする。
--	---

看護  
学  
科  
専  
門